

令和元年度（2019年度）地域医療構想に係る地域説明会 議事録

日時 令和元年（2019年）6月10日（月） 15:00～16:00

場所 北見市民ホール 小ホール

出席者 北圏圏域等の市町、医療機関、関係団体等の関係職員 41名 道本庁・総合振興局職員 17名

議題 別添次第のとおり

議事 1 地域医療構想に関する国及び道の動き 資料1～3-3

事務局（保健福祉部地域医療課 櫻井主幹及び原主査）より資料説明

- ・地域医療構想に関する国の動きとして、地域医療構想について、踏み込んだ議論が必要ではないかとの議論が行われているところ。
- ・国では、「地域医療構想」、「医師の働き方改革」、「医師偏在対策」が三位一体で進められている。
- ・道の基本的な考え方としては、人口構造の変化に合わせ、必要な機能を現実的に検討していくこととし、必要病床数は検討となる数字で絶対的な数字ではない。
- ・議論のすすめ方について、道から必要なデータを提供し、それを踏まえて地域の課題についての意見交換を行い、その課題に応じた取組を意見いただき、情報共有や意見交換をすすめていく。
- ・道のこれまでの取組状況としては、平成28年に地域医療構想を策定し、全ての病院・有床診療所あてにアンケート調査を行い、各医療機関の今後のプランなどを把握している。
- ・今年度の取組方針として、具体的な取組に向けた集中的な意見交換を重要と考えており、各圏域で重点課題の設定を考えている。
- ・道の各種支援事業として、病床転換に係る補助やICTの活用支援についての事業について説明。
- ・具体的な取組事例として、道外の事例を報告。
- ・定量的な基準について、実情にあった基準により、病床機能報告を整理し議論に役立たない旨の国の文書もあり、道も検討を開始した。
- ・定量的基準で整理し直した数値が出ているが、議論の参考となる数値という捉え方になることと、各医療機関が病床機能報告を報告する際にこの基準を参考としない旨注意点として説明。
- ・勤務環境改善支援センターについて、支援テーマや支援のスキーム等について説明。

2 地域の状況 資料4-1～6-4

事務局（オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室若狭企画主幹）より資料説明

- ・人口構造の変化及び患者数の将来推計、受療動向について資料4により説明。
- ・資料5-2は国保等のレセプトデータから抽出されたデータに基づき、主な疾患別、市町村別の受療動向で、今回新たに作成した資料だが、資料5-1で説明している受療動向とはデータの出典が異なるため、数値は一致しない。
- ・資料6-1に定量的な基準により各病棟を再分類したものを記載しており、パターン①、②ともに急性期が減少し、回復期が増加している。
- ・昨年行った「地域医療構想の推進に関する意向調査」の結果について資料6-2により説明。

3 質疑

なし

以上

令和元年度（2019年度）地域医療構想に係る地域説明会

と き：令和元年（2019年）6月10日（月）15時00分～

ところ：北見市民会館 小ホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

北海道オホーツク総合振興局保健環境部長

3 議 事

（1）地域医療構想に関する国及び道の動き

- ・地域医療構想の取組状況と今後の取組方針・・・資料1
- ・道内外の地域における取組事例・・・・・・・・・・資料2
- ・勤務環境改善支援センター・・・・・・・・・・資料3

（2）地域の状況

- ・人口構造の変化・・・・・・・・・・資料4
- ・受療動向・・・・・・・・・・資料5
- ・病院・有床診療所の状況・・・・・・・・・・資料6

（3）その他

（4）質疑応答・意見交換